

質問通告・内容一覧表

議会傍聴者用

質問順	質問議員	通告の標題・内容
1	畑 久雄	<p>◎ チョウザメ事業の事業計画、経営の方向について</p> <p>チョウザメ養殖事業開始から7年が経過し、養殖数の増加とともに池の増加等難しい課題がある。</p> <p>一般的な考え方としては、10年間ほどの事業計画により推移・資金・資産等の経営方針を明確にし、事業を行うものである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事業開始当初から現状へどう推移しているか。 2 現状を踏まえ、今後の事業計画は。 3 今後の年度別経営計画は。養殖数・売上額・経費（人件費・飼料代・研究費・管理費等）及び加工品の具体策は。 <p>◎ 道の駅しかおい直売会の今後の方向について</p> <p>道の駅しかおいは、道の駅に指定されてから18年が経過し、周辺町の集客やコロナ禍により来客者数、売り上げが減少している。</p> <p>町の発展を推進していく商業施設として、道の駅の充実と観光案内も兼ねた複合的施設とすることを考える時期ではないか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 道の駅しかおいの今後の方向性は。 2 町民は狭い中でも品揃えを考え出品している。一層力を入れて取り組むべきでは。 3 町民の意見を取り入れ、早急に計画立案に取り組むべきでは。

質問順	質問議員	通告の標題・内容
2	狩野正雄	<p>◎ カーボンオフセット型地域（森林）づくり 鹿追町が持続的発展を実現するための方法について。</p> <p>1 近年、大型機械導入による作業効率等の関係で耕地防風林が減少している。 森林伐採後に植林されず原野化している状況も見られ、地域が持続的に発展し、景観（環境）を維持していくためには住民と町がともに計画し行動をとることが必要と考えるが。</p> <p>2 町では太陽光発電による電力を自営線ネットワークで結び公共施設で使用する取組を行なっている。 自営線ネットワークの今後の整備活用計画は。 また、再生可能エネルギーの利用や販売方法等について、今後どのような調査研究を進めていくのか。</p>
3	山口優子	<p>◎ 「鹿追町修学資金貸付事業」の拡充と奨学金返還支援について 修学資金貸付事業対象者の拡充と定住促進のための奨学金返還支援について。</p> <p>1 町の「修学資金貸付事業」では4年制大学の例で480万円を無利子で借りることができるが、鹿追高校入学者の確保を目的とするため鹿追高校卒業生以外は利用できない。 この制度を拡充し、他の町民も奨学金を利用できるようにするには。</p> <p>2 国は、大学等卒業後、町内に居住・就職した人に対する「奨学金返還支援」に取り組む市町村に特別交付税措置を行なっているが、鹿追町は鹿追高校卒業かつ町内の医学・介護福祉分野への就職が条件となっている。 地域へのUターン・Iターンを促進するため、出身校の条件及び就業先業種の指定なしとしている自治体もあるが、町長の考えは。</p>